

株式会社日本統計センター（情報サービス業）：地域統計データの活用による地域課題解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築

パターン3: データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

参加者

企業 ロゴ (任意) () 参加した受講生の概要	社名	株式会社日本統計センター
	業種	情報サービス業
	事業概要	地域データベースの提供、 及びコンサル、DBシステム提供
	所在地 (都道府県)	福岡県北九州市
	チーム名	一番幸せな台所
	チーム人数	6名
	スキル・PR	・豊富な実務経験とコミユカ ・熱心で力強く対応
	進める中で工夫したこと	企業様と状況認識の相違確認 メンバのやりたい分野の検討提示 (企業の課題の中から)

実施概要

課題内容

DXを導入し、地域課題解決の強力なパートナーとしての認知度を高める

- ・HPにもっとたくさんのお客様を集めたい。課題を洗い出す。
- ・既存データの活用方法を検討する。



実施した検討内容

提供データの価値を上げ、新たなお客様獲得の為に施策を検討実施した。

- ・地域統計データの価値を上げる
- ・現状HPの改善
- ・HP集客の目的の明確化と改善に向けた仕組み構築 & HP誘導策の検討



検討の成果

データ価値改善、HP改善（短期と長期）にわけてご提案

- ・データの新たな価値を提案する新サービス案を提示した。
- ・現状のHPの課題と改善案を提示した。
- ・GoogleアナリティクスによるHPの改善手法を提供しデータドリブンな改善が開始された。

株式会社日本統計センター（情報サービス業）：地域統計データの活用による地域課題解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築

パターン3：データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

実施内容の詳細

成果

データ価値向上・HPコンバージョン向上という視点で検討

- データ価値改善や新たな利用方法を検討するため、他社の成功事例に関する情報を収集し、具体的な事例紹介を通じて、地域データベースの新たな見方を提示した。
- 生成AIを活用したサンプル記事作成例を提供し、NSCがカスタマイズしたブログ記事を作成できるよう、実践的なアドバイスを提供した。
- HPの目的を定義し、コンバージョンとして明確にし、ファネル分析で離脱箇所を検出し改善し、改善をデータで確認する手順を提案した。
- HP訪問者を増やす為、訪問者の属性に合わせた施策を検討し、質の高い訪問者をより集める手段なども提示した。
- 生成AIの使い方を具体例で提示した。（企業分析等）

<HP改善（短期）>

- トップページを中心とした現在のHPの課題とその対応施策について提案を実施
- 運用に関して取り組むべき内容を整理し、提案を実施
- HPのサイト構成に関する具体的なイメージ案を策定し、提示

データ価値改善、HP改善（短期と長期）にわけて改善案を提案

- 地域データサービスの新たな見方を提示することで、新たな利用ニーズを気づいていただいた。
- 良質な記事を量産するための技術や工夫を提示し、理解していただいた。
- GoogleAnalytics4(GA4)での取得データにより分析を行う為のHP改善チームが結成され、改善に向けての活動が始まった。
- HP作成者側の視点で作成していた事を気づいて頂き、訪問者側の視点、取引につなげる意識に気づいて頂き、具現化に向けた取組が開始された。
- HP改善に向け、KGI/KPIを定め、ログからのデータドリブンの改善や、カスタマージャーニーマップによる顧客理解を深くし、盛込んでいくことになった。
- HP運用体制も組織化し資源投下する必要性を理解頂いた。
- 地域データベースの新たな見方を提示することで新たな利用ニーズを気づいて頂いた。
- 良質な記事を量産するための技術や工夫を提示し、理解頂いた。
- 販売したデータの利用目的が把握出来ていないことに気づいて頂きました。
- 自分達では認識できていなかった強みを第三者視点で提示できました。
- 生成AIを企画案の素材として活す様に開発部門での調査等で活用中でした。マナビDX側の知見を追加させて頂きました。